

意見交換における本部委員の主な意見

□産業戦略指針「やまぐち産業イノベーション戦略」の進捗状況及び今後の戦略について

(戦略の改定について)

- 9つの成長分野と各プロジェクトの関連性の見える化を考えるべき。
- 労働人口の減少に備え、未来技術による生産性の向上が必要であり、DXの加速は重要な視点。
- DXの推進は産業の糧になるので重点的に取り組んでほしい。
- オープンイノベーションの取組を効果的に進めるには、その中に、ビジネスモデルを組み込むことが重要。
- 意欲ある中堅・中小企業が県の戦略についていけるような仕組みや場づくりが必要。
- 産業人材を確保するためには、魅力あるまちづくりも重要。
- コロナ禍により地方への分散が一つのキーワードとなっており、県としてはチャンスと捉えてDXを加速していくべき。
- 防災に強みを持つことは産業戦略上も意義がある。
- 環境の観点にもう少し重点を置いてプロジェクトを進めてみてはどうか。

(各プロジェクトについて)

〔瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト〕

- 島田川工業用水道事業の完成は、周南地区の持続的な産業発展につながる。
- 化学業界における石炭火力の自家発電は、効率が良く、競争力の原点になっている。県の理解をお願いしたい。
- 国際バルク戦略港湾の取組を継続していただきたい。
- 二酸化炭素利活用について、県内産学官が意見交換を行う推進会議体の発足等について検討してほしい。

〔自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト〕

- ワークショップ等を通じ、一部共同の技術開発が進むなど、非常に有意義なものとなっており、引き続きフォローアップをお願いしたい。

〔大規模産業用地活用促進プロジェクト関連〕

- 成長分野を中心とした企業立地の積極的推進を引き続きお願いしたい。

〔地域中核企業創出・成長支援プロジェクト関連〕

- コロナ禍でサプライチェーンの混乱が話題となったが、一番良いのは県内の自給自足である。本プロジェクトに一層力入れてほしい。
- カンファレンスチームについて、金融機関に企業把握を一元化しチームで共有す

るなど、役割分担の整理を検討してはどうか。

〔スタートアップ企業立地促進・育成プロジェクト〕

- 目標を大きく下回っているが、どこがボトルネックになっているか深掘りし、対応していけると良い。

〔高度産業人材確保・活用支援プロジェクト関連〕

- 技術交流会では成約に至る案件もでている。企業同士の交流の場を持つことは非常に意義があり、継続的に取り組んでほしい。

〔産業インフラ輸出促進プロジェクト関連〕

- ベトナムへの水産インフラ輸出構想について、ミニッツ締結が終了しスタートが切れた。渡航制限等の状況も踏まえ取り組んでいきたい。

〔地域産業IoT等導入促進プロジェクト関連〕

- 自社製品にもネット機能を持たせており、5G等をいかに活用していくかは重要な課題と認識。
- 5Gを活用したスマートファクトリー化に取り組んでいる。コロナ禍の中、中小企業でもデジタル化の必要性の認識が高まっており、この機会に後押しをしてほしい。

〔その他〕

- 後継者不足の中、M&Aは重要だが、売却する際のネガティブイメージを和らげる環境整備や情報が広くアクセスできるような取組を進めてほしい。
- 農林水産業と観光業はコロナの影響が甚大。経済が早期回復している中国との間で人と物が順調に流れるようにしてほしい。